

## V 玄海原子力発電所周辺環境調査計画

<令和7年度>



## V 目 次

V－I 玄海原子力発電所周辺環境放射能調査計画<令和7年度>… V－1

V－II 温排水影響調査計画(県実施分)<令和7年度>…………… V－19

V－III 温排水影響調査計画(九州電力実施分)<令和7年度>…………… V－23



# V - I 玄海原子力発電所周辺環境放射能調査計画

<令和7年度>



# I 佐賀県

## 1 空間放射線

### a モニタリングポスト

測定項目	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
空間放射線量率	モニタリングポスト (テレメータシステム)	連続	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 電離箱式検出器	いまむら 今村局	図1
				ひらお 平尾局	
				くし 串局	
				さくべ 先部局	
				ほかわづら 外津浦局	
				きよどまりさき 京泊先局	
			電離箱式検出器	やかたいし 屋形石局	
				だいら 大良局	
				もろうら 諸浦局	
				いりの 入野局	
				てらうら 寺浦局	
				なごや 名護屋局	
				いしむろ 石室局	
				かくら 加倉局	
				よぶこ 呼子局	
				まだらしま 馬渡島局	
				かからしま 加唐島局	
				むくしま 向島局	
				おがわじま 小川島局	
				ふたご 二夕子局	
				やまもと 山本局	
				はたつ 波多津局	
				たの 田野局	
				おうち 相知局	
まつうら 松浦局					
たちばな 立花局					

### b 走行サーベイ

測定項目	測定方法	頻度	測定機器	測定範囲 (図4)	測定時期
空間放射線量率	走行サーベイ車 (可搬型測定器)	3ルート/四半期 (計 12 ルート)	CsI(Tl)シンチレーション式 検出器	発電所から 5km～30km	毎四半期

## 2 環境試料中の放射能

測定試料	頻度	試料名	地点名 (図2、図3)	採取時期(四半期)				核種分析					
				1	2	3	4	γ*	<sup>131</sup> I	<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H		
農畜産物・植物	葉菜	年1回	たまねぎ	ちか 値賀	○				1				
				のうき 納所	○				1				
		きやべつ	とどろき 轟木			○			1	1			
	牛乳	年3回	牛乳	さかえ 栄	○	○*		○	3	3	1		
				たの 田野	○	○		○	3	3			
	穀物	年1回	米	ひらお 平尾		○			1	1			
				もろうち 諸浦		○*			1		1		
	指標生物	年2回	松葉	なごや 名護屋	○		○		2	2			
				のうき 納所		○		○*	2	2	1		
	その他	年1回	ばれいしよ	ひらお 平尾	○				1				
				のうき 納所	○				1				
			みかん	ひらお 平尾			○		1				
くし 串						○		1					
海産生物	魚	年2回	たい	発電所から 10km 圏内 の海域		○	○		2				
			かわはぎ			○*	○		2		1		
			えそ			○	○		2				
	無脊椎動物	年1回	なまこ	はつたうら 八田浦周辺				○*	1		1		
	指標生物	年2回	ほんだわら類			○*		○*	2	2	2		
	その他	年1回	むらさきいんこがい			○			1				
水	陸水	年4回	水道水	ちか 値賀出張所	○*	○	○	○	4	4	1	4	
		年1回	水道水	別表 1	別表 1				5	5	5	5	
		年2回	河川水	しれがわ 志礼川	○*		○		2	2	1	2	
	海水	年1回	表層水	1、2号放水口付近		○*			1	1	1	1	
				3、4号放水口付近		○*			1	1	1	1	
				1、2号取水口付近				○*	1	1	1	1	
				3、4号取水口付近				○*	1	1	1	1	

※ : ガンマ線放出核種として、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Cs 及び <sup>137</sup>Cs を測定

○ : 核種分析の実施時期

○\* : <sup>90</sup>Sr を含む核種分析の実施時期

(続き)

測定試料		頻度	試料名	地点名 (図2、図3)	採取時期(四半期)				核種分析			
					1	2	3	4	γ*	<sup>131</sup> I	<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H
土	土壌	年1回	表層土	くし串	○				1			
				九州電力値賀寮 <small>ちか</small>	○*				1		1	
				別表2	別表2				10		10	
	海底土	年1回	表層土	1、2号放水口付近		○*			1		1	
				3、4号放水口付近		○*			1		1	
				1、2号取水口付近				○*	1		1	
				3、4号取水口付近				○*	1		1	
	計					—				60	29	33

※ : ガンマ線放出核種として、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Cs 及び <sup>137</sup>Cs を測定

○ : 核種分析の実施時期

○\* : <sup>90</sup>Sr を含む核種分析の実施時期

別表1 陸水（水道水）の採取地点（15地点 令和6（2024）年度～令和8（2026）年度）

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
1	<small>くす</small> 楠浄水場	R6	1
2	<small>せとこぼ</small> 瀬戸木場浄水場	R7	2
3	<small>かからしま</small> 加唐島浄水場	R6	4
4	<small>まだらしま</small> 馬渡島浄水場	R7	4
5	<small>むくしま</small> 向島浄水場	R8	
6	<small>まつしま</small> 松島浄水場	R8	
7	<small>こぼ</small> 木場浄水場	R6	2
8	<small>はぜ</small> 波瀬簡易水道	R6	3
9	<small>ひがしぶん</small> 東分簡易水道	R6	3
10	<small>じょう</small> 城簡易水道	R7	3
11	<small>おおくぼ</small> 大久保簡易水道	R8	
12	<small>にしおおくぼ</small> 西大久保飲料水供給施設	R7	1
13	<small>ひなたごう</small> 日南郷飲料水供給施設	R7	3
14	<small>いわたて</small> 岩立飲料水供給施設	R8	
15	<small>たしろ</small> 田代飲料水供給施設	R8	

別表2 土壌（表層土）の採取地点（50地点）令和4（2022）年度～令和8（2026）年度

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
1	やかたし 屋形石局	R6	3
2	だいら 大良局	R5	3
3	もろうら 諸浦局	R5	3
4	いりの 入野局	R5	2
5	てらうら 寺浦局	R5	2
6	かくら 加倉局	R6	3
7	よぶこ 呼子局	R6	3
8	まだらしま 馬渡島局	R6	2
9	かからしま 加唐島局	R6	2
10	むくしま 向島局	R6	2
11	おがわじま 小川島局	R6	2
12	ふたご 二夕子局	R7	3
13	やまもと 山本局	R7	3
14	はたつ 波多津局	R5	2
15	たの 田野局	R5	2
16	おうち 相知局	R8	2
17	まつうら 松浦局	R8	2
18	たちばな 立花局	R4	2
19	とどろき 轟木公民館	R5	3
20	きし 佐志小学校	R7	3
21	からつ 唐津第1中学校	R7	3
22	かがみやま 鏡山小学校	R7	2
23	ひれふりランド	R7	2
24	きりご 切木小学校	R5	2
25	たけこぼ 竹木場小学校	R5	3

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
26	はだ 半田ふれあいセンター	R7	2
27	ほまたま 唐津市浜玉林業 構造改善センター	R7	2
28	いげぼる 池原集会所	R8	3
29	ななやま 七山小中学校	R7	2
30	きたはた 北波多浄水場跡	R5	3
31	きり 佐里地区公民館	R8	2
32	たがしら 旧田頭小学校	R8	3
33	きゅうらぎ 旧厳木小学校 ひろかわ 広川分校	R8	3
34	ひらやま 平山地区公民館	R8	3
35	きゅうらぎ 厳木小学校	R8	3
36	スポーツランド <sup>まだら</sup> 馬渡	R6	2
37	まつしま 松島	R6	3
38	かしわじま 旧神集島小学校	R6	3
39	たかしま 高島公民館前	R7	3
40	くろがわ 黒川コミュニティセンター	R4	3
41	みなみはた 南波多コミュニティセンター	R4	3
42	おおかわ 大川運動広場	R8	2
43	まきしま 牧島コミュニティセンター	R4	3
44	おおつぼ 大坪コミュニティセンター	R4	3
45	まつうら 松浦運動広場	R8	2
46	やましる 山代コミュニティセンター	R4	2
47	ひがしやましる 東山代コミュニティセンター	R4	2
48	たきの 旧滝野小中学校	R4	2
49	にり 二里コミュニティセンター	R4	2
50	おおかわち 大川内コミュニティセンター	R4	3

### 3 大気浮遊じん中の放射能

測定核種	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
$^{60}\text{Co}$ $^{134}\text{Cs}$ $^{137}\text{Cs}$	ダストサンプラで連続捕集し、回収した試料(ろ紙)を灰化後、測定	月1回	Ge 半導体検出器 (環境センター内設置)	いまむら 今村局	図4
$^{131}\text{I}$	ヨウ素サンプラで捕集し、回収した捕集材を測定	年1回	Ge 半導体検出器 (環境センター内設置)	9地点 (別表3)	図4

別表3 大気浮遊じん中の <sup>131</sup>I 採取地点 (県: 26 地点 令和 6 (2024) 年度～令和 12 (2030) 年度)

番号	地点名(地点)	調査年度						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1	いまわら 今村局	○	○	○	○	○	○	○
2	ひらお 平尾局						○	
3	くし 串局			○				
4	きくべ 先部局	○						
5	ほかわづら 外津浦局					○		
6	きよどまりさき 京泊先局							○
7	やかたし 屋形石局					○		
8	だいら 大良局	○						
9	もろうら 諸浦局		○					
10	いりの 入野局				○			
11	てらうら 寺浦局			○				
12	なごや 名護屋局		○					
13	いしむろ 石室局				○			
14	かくら 加倉局						○	
15	よぶこ 呼子局				○			
16	まだらしま 馬渡島局						○	
17	かからしま 加唐島局							○
18	むくしま 向島局					○		
19	おがわじま 小川島局	○	○	○	○	○	○	○
20	ふたご 二夕子局	○	○	○	○	○	○	○
21	やまもと 山本局			○				
22	はたつ 波多津局	○	○	○	○	○	○	○
23	たの 田野局		○					
24	おうち 相知局	○	○	○	○	○	○	○
25	まつうら 松浦局	○						
26	たちばな 立花局	○	○	○	○	○	○	○

## II 九州電力

### 1 空間放射線

#### a モニタリングポスト、放水口モニタ

測定項目	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
空間放射線量率	モニタリングポスト (テレメータシステム)	連続	NaI(Tl)シンチレーション式 検出器	正門南局	図1
				岸壁局	
				ちかぎき 値賀崎局	
				ダム南局	
放水口 計数率	放水口モニタ (テレメータシステム)	連続	NaI(Tl)シンチレーション式 検出器	1、2号放水口	
				3号放水口	
				4号放水口	

#### b 走行サーベイ

測定項目	測定方法	頻度	測定機器	測定範囲 (図4)	測定時期
空間放射線量率	モニタリングカー	年2回 (1ルート)	NaI(Tl)シンチレーション式 検出器	発電所から 5km 未満	第1四半期 第3四半期

## 2 環境試料中の放射能

測定試料	頻度	試料名	地点名 (図2、図3)	採取時期(四半期)				核種分析				
				1	2	3	4	γ※	<sup>131</sup> I	<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H	
農畜産物・植物	葉菜	年3回	ほうれん草	いまむら 今村	○		○	○*	3	3	1	
	牛乳	年4回	牛乳	はまのうら 浜野浦	○	○	○*	○	4	4	1	
	穀物	年1回	米	ふおんじ 普恩寺			○*		1	1	1	
				しもみや 下宮			○		1			
	指標生物	年4回	松葉	敷地内	○*	○	○	○	4	4	1	
その他	年1回	かんしょ	ふおんじ 普恩寺			○*		1		1		
			いまむら 今村			○		1				
海産生物	魚	年2回	たい	発電所から 10km 圏内 の海域	○		○*		2		1	
	無脊椎動物	年2回	いか			○	○		2			
		年1回	さざえ				○		1			
	なまこ						○*		1		1	
	海藻類	年1回	わかめ	はったうら 八田浦周辺	○*				1	1	1	
指標生物	年2回	ほんだわら類	○*			○		2	2	1		
水	陸水	年4回	河川水	しれがわ 志礼川	○	○*	○	○**	4	4	1	2
		年2回	ダム水	敷地内		○*		○**	2	2	1	2
	海水	年4回	表層水	1、2号放水口付近	○**	○	○*	○	4	4	1	2
				3、4号放水口付近	○*	○	○**	○	4	4	1	2
				1、2号取水口付近	○**	○	○*	○	4	4	1	2
			3、4号取水口付近	○*	○	○**	○	4	4	1	2	
土	土壌	年2回	表層土	岸壁側	○		○		2			
				正門南	○*		○		2		1	
		年1回	表層土	九州電力 いまむら 今村寮	○*				1		1	
		年2回	ダム底土	敷地内	○*		○		2		1	
	海底土	年2回	表層土	1、2号放水口付近		○*		○	2		1	
				3、4号放水口付近		○*		○	2		1	
				1、2号取水口付近		○*		○	2		1	
3、4号取水口付近					○*		○	2		1		
計				—				61	37	22	12	

※ : ガンマ線放出核種として、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Cs 及び <sup>137</sup>Cs を測定

○ : 核種分析の実施時期

○\* : <sup>90</sup>Sr を含む核種分析の実施時期

○\* : <sup>3</sup>H を含む核種分析の実施時期

### 3 大気浮遊じん中の放射能

測定核種	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
$^{60}\text{Co}$ $^{134}\text{Cs}$ $^{137}\text{Cs}$	ダストサンプラで連続捕集し、回収した試料(ろ紙)を灰化後、測定	四半期1回	Ge 半導体検出器 (発電所内設置)	正門南局	図4
$^{131}\text{I}$	ヨウ素サンプラ及びヨウ素モニタで捕集、測定 (モニタリングカー)	年1回	ヨウ素モニタ (モニタリングカー内設置)	10 地点 (別表4)	

別表4 大気浮遊じん中の  $^{131}\text{I}$  採取地点(九州電力)

番号	地点名(地点)
1	発電所口(玄海町大字今村)
2	<small>くしぎき</small> 串崎(唐津市鎮西町)
3	<small>ほかわづ</small> 外津(玄海町大字今村)
4	<small>ふおんじ</small> 普恩寺(玄海町大字普恩寺)
5	<small>くし</small> 串公民館(唐津市鎮西町)
6	<small>いまむら</small> 今村交差点(玄海町大字今村)
7	<small>くしうら</small> 串浦(唐津市鎮西町)
8	<small>ちか</small> 値賀取水場(玄海町大字今村)
9	<small>なごや</small> 名護屋南(唐津市鎮西町)
10	<small>ちか</small> 値賀出張所(玄海町大字平尾)

### Ⅲ 測定方法及び測定機器

調査項目		調査機関	測定法	測定器	
				佐賀県	九州電力
空間放射線	空間放射線量率 (モニタリングポスト)	固定型モニタリングポスト(県・九電)、放水口モニタ(九電)による連続測定(テレメータシステム)	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立アロカメディカル (多重波高分析器付) MSR-R69-22234	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 富士電機 NDS3AAA2-BYYYYY-S	
	放水口計数率 (放水口モニタ)			「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	電離箱式検出器 14L球形加圧型(N <sub>2</sub> +Arガス) 日立アロカメディカル MSR-R69-21090R1 MSR-R69-22205
	空間放射線量率 (走行サーベイ車、モニタリングカー)	車載型検出器による連続走行測定  「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	CsI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 シリコンダイオード検出器 (エネルギー補償回路付) ミリオンテクノロジーズ HDS-101G	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立製作所 ADP-1132	
環境試料中の放射能	ガンマ線放出核種 ・ <sup>60</sup> Co ・ <sup>131</sup> I ・ <sup>134</sup> Cs ・ <sup>137</sup> Cs	「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令和2年改訂 原子力規制庁)及び「放射性ヨウ素分析法」(平成8年改訂 文部科学省)に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a	高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a	
	ストロンチウム90( <sup>90</sup> Sr)	「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂 文部科学省)に準ずる。	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4502	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4602	
	トリチウム( <sup>3</sup> H)	「トリチウム分析法」(令和5年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB7	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB8	

(注) メーカー名は購入時。

(続き)

調査機関 調査項目		測定法	測定器	
			佐賀県	九州電力
大気浮遊じん中の放射能	ガンマ線放出核種 ・ <sup>60</sup> Co ・ <sup>134</sup> Cs ・ <sup>137</sup> Cs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 県：ダストサンプラで1か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化 九電：エアーサンプラで3か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化</li> <li>・測定 環境試料中の放射能-ガンマ線放出核種と同様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ダストサンプラ 応用光研工業 S-3063</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ダストサンプラ 富士電機 NAD-TA7C5463C01</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>
	放射性ヨウ素 ・ <sup>131</sup> I (固定型ヨウ素サンプラ、可搬型ヨウ素サンプラ、モニタリングカー)	「緊急時における放射性ヨウ素測定法」(令和5年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ 応用光研工業 S-3064 富士電機 NAD-TA7C3412C01 アロカ DSM-R60</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ 日立製作所 DSM-362BU3R1</li> <li>・測定 ヨウ素モニタ NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 日立製作所 ADP-1122</li> </ul>

(注) メーカー名は購入時。



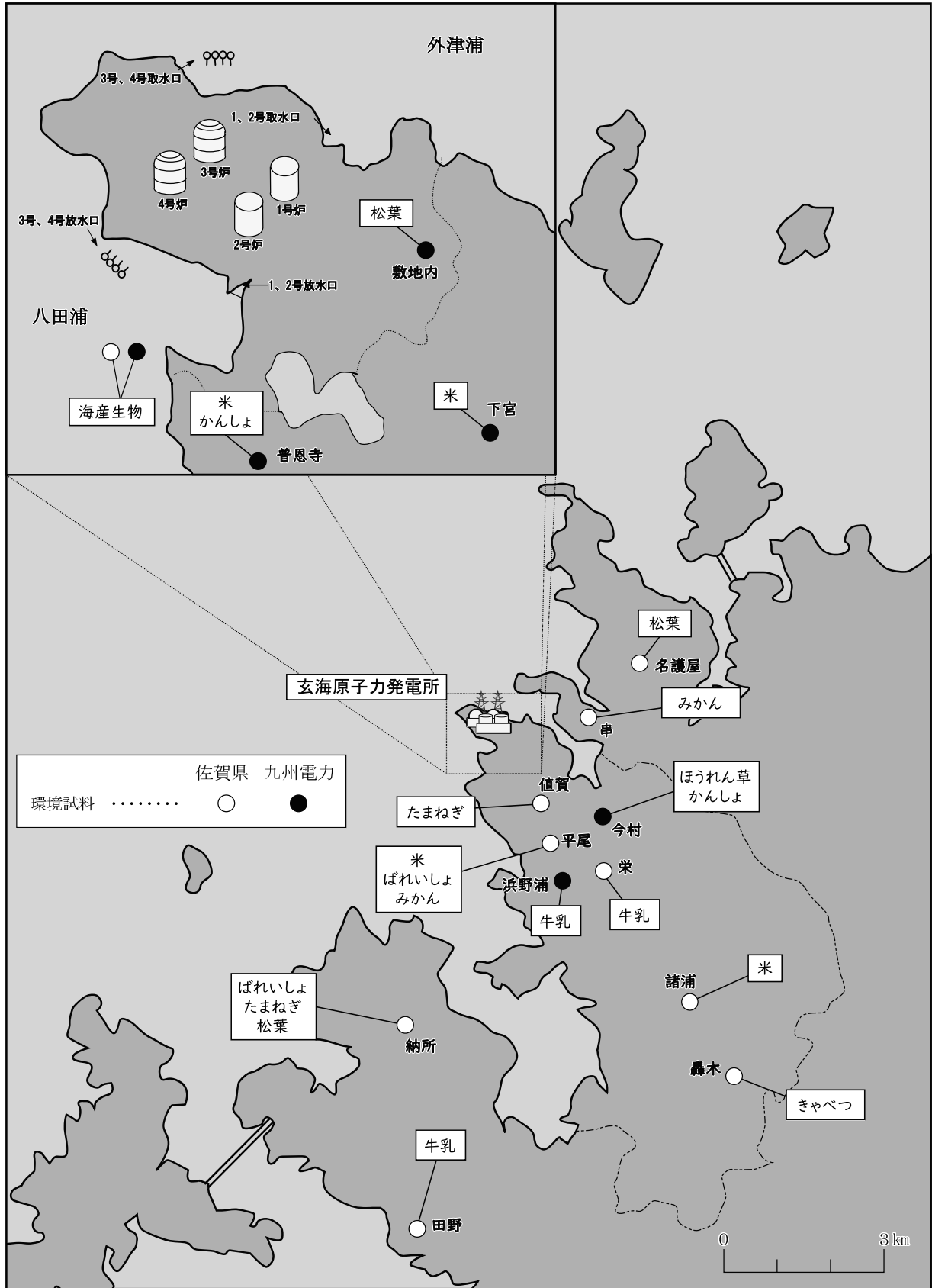


図2 環境試料採取地点（農畜産物・植物、海産生物）



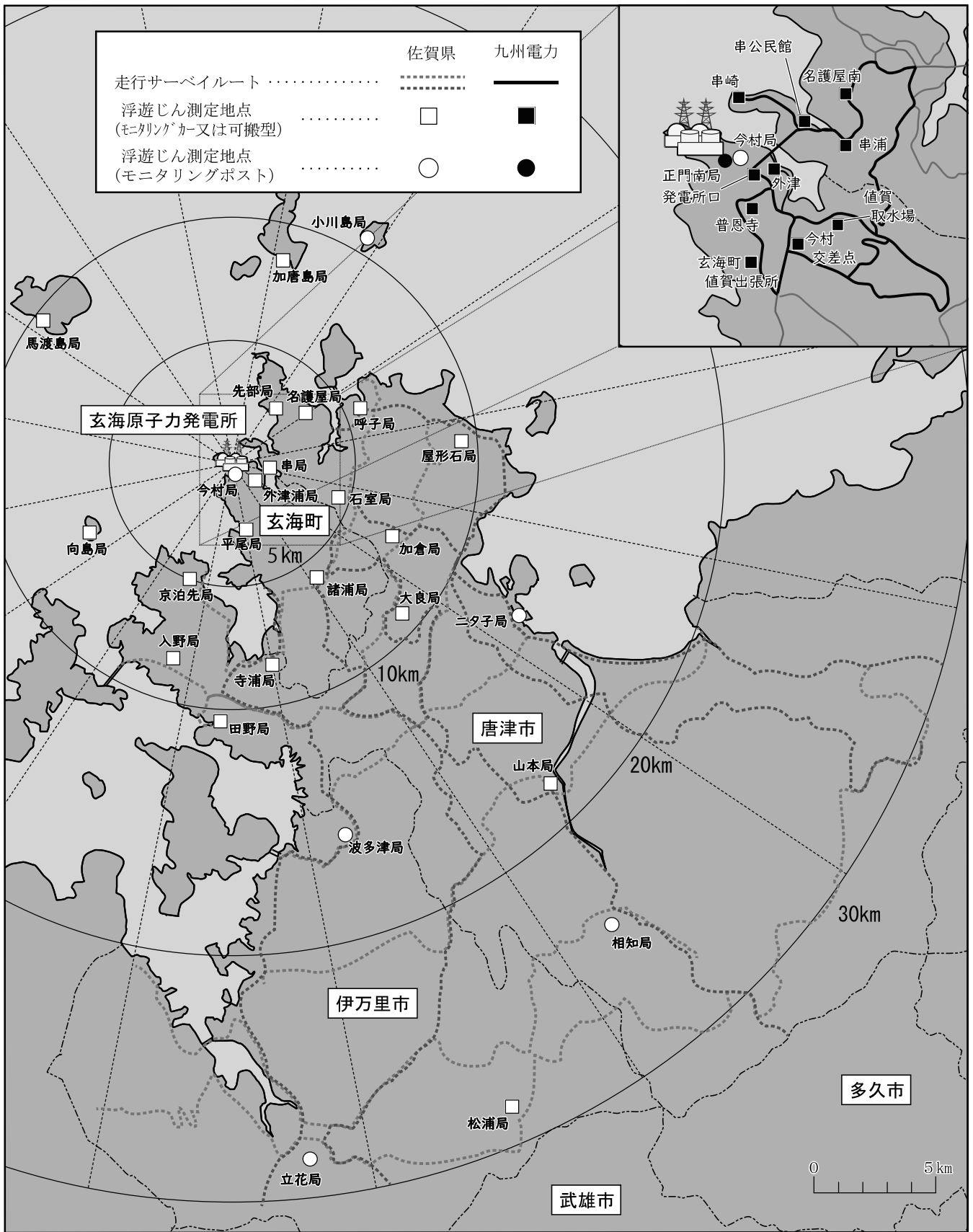


図4 空間放射線等測定地点（走行サーベイ、大気浮遊じん）

## V－II 温排水影響調査計画（県実施分）

<令和7年度>



## 令和7年度調査計画

項目	調査月	内容	調査回数	点数	観測層	調査方法および使用機器
拡散調査	夏季 冬季	水温 塩分	2	74	水温 0.3(表層),1,2, 3,4,5,7,10,15,20m 塩分 0.3(表層)m	・水温、塩分:多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD102)
流動調査	夏季	流向 流速	1	5	0.3(表層),5,10, B-1(底層)m	・流向・流速計による現場測定 (JFEアドバンテック社 AEM213-D)
水質調査	夏季 冬季	水温 pH DO 濁度 クロロフィル-a	2	5	0.3(表層),5,10, B-1(底層)m	・ナンセン転倒採水器による採水 ・水温、DO、濁度:多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD102) ・pH:卓上測定器による測定 (HORIBA社 卓上pH計) ・クロロフィル-a:蛍光法
底質・底生生物調査	夏季	粒度組成 COD ベントス	1	10	海底土	・スミス・マッキンタイヤ採泥器による採泥 ・粒度組成:ふるい分け法、沈殿分析法 ・COD:アルカリ法 ・ベントス:マクロベントスについて同定・計数
付着生物調査	夏季 冬季	動物 植物	2	10	潮間帯	・ベルトランセクト法 岸側各点から海方向にメジャーを伸ばし、1.5m毎に50cm枠中の種類、数量(被度)を調査

※付着生物調査は、民間業者へ委託

※夏季(7~9月)、冬季(1~3月)

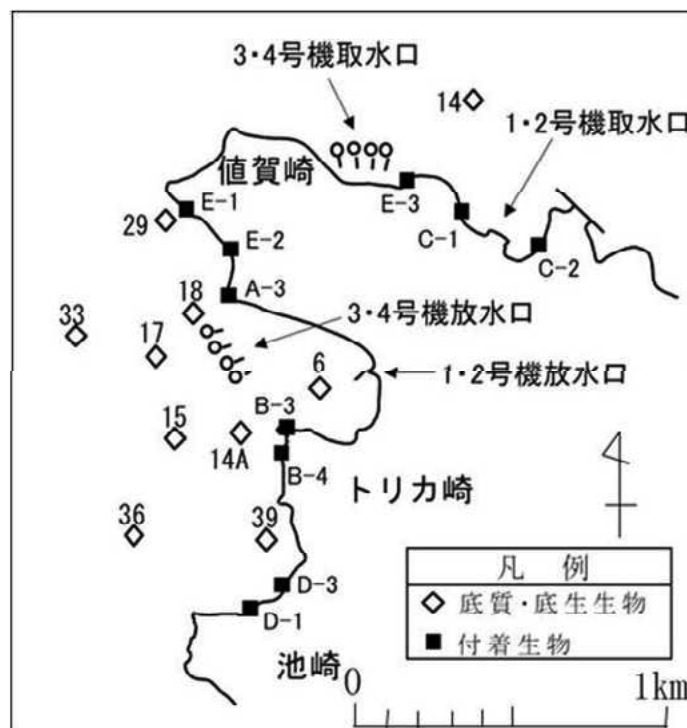


図1 調査点-1 (底質・底生生物調査、付着生物調査)

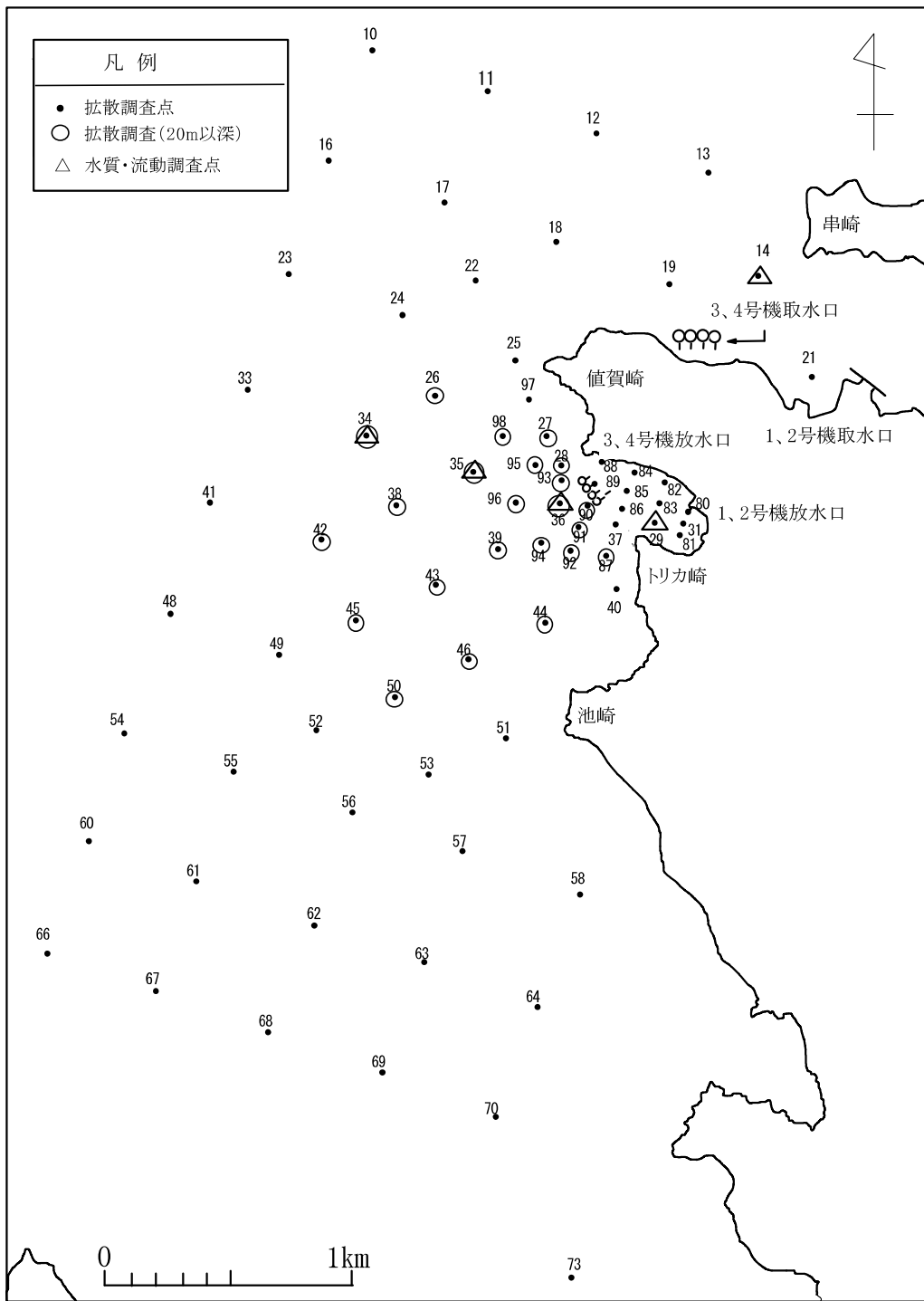


図2 調査点-2 (拡散調査、流動調査、水質調査)

## V－Ⅲ 温排水影響調査計画（九州電力実施分）

<令和7年度>



項 目	調査頻度	調 査 内 容	備 考
流 況	年 2 回	電磁流速計による定点流況連続測定 ・ 5 測点：海面下 2m の 1 層（測点については第 1 図参照）	・ 調査時期：夏季、冬季 ・ 15 日間連続測定
水 温	年 4 回	曳航式水温塩分測定装置による連続測定 ・ 水平分布 16 測線：海面下 0.3、1、2、3m の 4 層 多項目水質計による測定 ・ 鉛直分布 38 測点：海面下 0.3、1～10m は 1m 間隔、 10m 以深は 5m 間隔、最深は海底上 1m (測線及び測点については第 1 図参照)	
水 質	同 上	バンドーン採水器による採水 ・ 7 測点 5 測点：海面下 0.5、3、8、20m の 4 層 2 測点：海面下 0.5、3、8m または海底上 1m の 3 層 (分析項目等及び測点については表-1、第 2 図参照)	
底 質	年 2 回	スミス・マッキンタイヤ採泥器による採泥 ・ 7 測点（分析項目等及び測点については表-2、第 2 図参照）	・ 調査時期：夏季、冬季
プ ラ ン ク ト ン	同 上	動物プランクトン 北原式閉鎖型定量ネットによる採集 植物プランクトン バンドーン採水器による採集（採水後、沈殿し採集） ・ 7 測点 5 測点：植物 海面下 0.5、3、8、15m の 4 層 動物 海面下 0～10、10～20m の 2 層 2 測点：植物 海面下 0.5、3、8m または海底上 1m の 3 層 動物 海面下 0～10m または海面下 0m～海底 上 1m の 1 層 (分析項目等及び測点については表-3、第 2 図参照)	同 上
潮間帯生物	同 上	ベルトトランセクト法による観察 ・ 9 測点（観察方法及び測点については表-4、第 2 図参照）	同 上

※全調査項目を民間業者へ委託

表－1 水 質

項 目	内 容		
測 点	7測点 (第2図)		
採水層	海面下0.5、3、8、20mの4層 ただし、放水口周辺の2測点は、海面下0.5、3、8m(8m以浅の場合は海底上1m)の3層		
分析項目 及び 分析方法	分 析 項 目	分 析 方 法	出 典
	水 温	電気伝導度水温水深計による測定	海洋観測指針 (1999)
	塩 分	サリノメーター法	海洋観測指針 (1999)
	水素イオン濃度 (pH)	ガラス電極法	昭和46年 環境庁告示第59号 (JIS K 0102-2019)
	溶 存 酸 素 量 (DO)	よう素滴定法	昭和46年 環境庁告示第59号 (JIS K 0102-2019)
	化学的酸素要求量 (COD) (アルカリ性法)	アルカリ性過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	JIS K 0102-2019
	濁 度	カオリン標準溶液による吸光光度法	JIS K 0101-2017
クロロフィル a	ユネスコ法による吸光光度法	海洋観測指針 (1996)	

表－2 底 質

項 目	内 容		
測 点	7測点 (第2図)		
分析項目 及び 分析方法	分 析 項 目	分 析 方 法	出 典
	化学的酸素要求量 (COD)	過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	平成24年 環水大水発 120725002号
	粒 度	ふるい分け及び沈降法	JIS A 1204-2020

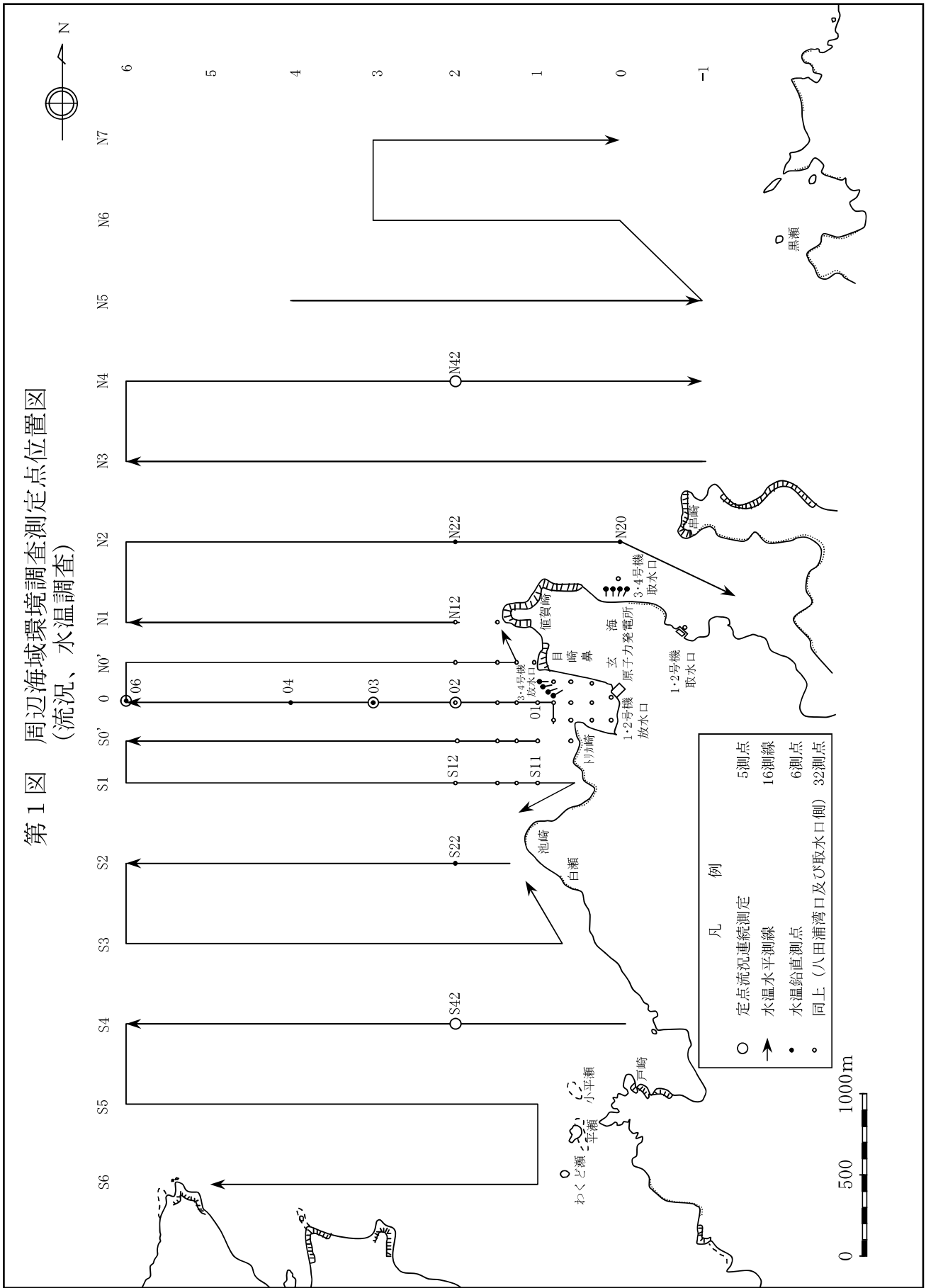
表一 3 プランクトン

項 目	内 容	
測 点	7 測点 (第 2 図)	
調 査 項 目	動物プランクトン	植物プランクトン
採 集 器	北原式閉鎖型定量ネット N X X 1 3	バンドーン採水器
採 集 層	海面下 0 ~ 10、10 ~ 20m の 2 層 ただし、放水口周辺の 2 測点については、 海面下 0 ~ 10m (10m 以浅の場合は海面 下 0 ~ 海底上 1 m) の 1 層	海面下 0.5、3、8、15m の 4 層 ただし、放水口周辺の 2 測点については、 海面下 0.5、3、8 m (8 m 以浅の場合 は海底上 1 m) の 3 層
採 集 法	ネットの鉛直曳網による方法	10ℓ 採水による方法
試 料 保 存	ホルマリン固定	ホルマリン固定
分 析 項 目	沈殿量 (mℓ / m <sup>3</sup> ) 種の同定と計数 (個体 / m <sup>3</sup> )	沈殿量 (mℓ / m <sup>3</sup> ) 種の同定と計数 (細胞 / ℓ)

表一 4 潮間帯生物

項 目	内 容
測 点	9 測点 (第 2 図)
観 察 方 法	ベルトトランセクト法 岸側から海方向にメジャーを伸ばして、方形枠 (50cm × 50cm) を原則として連続的に設定し、各枠内の出現種を調査 単位：個体 / 0.25m <sup>2</sup> または被度 (%)

第1図 周辺海域環境調査測定点位置図  
(流況、水温調査)



第2図 周辺海域環境調査測定点位置図  
(水質、底質、プランクトン、潮間帯生物調査)

